

第11回太田でテニスをやろう会

5月21日(土)の快晴の中、太田市鳥山上にあるサンズポランドで開催しました。

参加者は16人で、内訳は、現役4人、女性4人、OB男性8人、年齢は、50歳から87歳、最高齢者は今年の8月に米寿を迎える太田又次さんで、今でも週に5日はコートに出て若者？達を指導しているそうです。試合方法は、ダブルス4試合で、毎試合抽選でペアが変わります、結果は次のとおりでした。

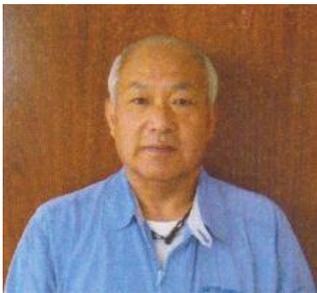
優勝;山田恭史さん 4勝0負、準優勝;石尾延也さん 3勝1負、第3位;菱山弘司さん 3勝1負、

来年も5月中旬の土曜日に開催する予定です、硬式テニス愛好者の多数のご参加をお待ちしています。



【 新入会員紹介 】

尾島 勉さん (平成 23 年 5 月入会) 太田市由良町



3月20日をもちまして、45年勤務いたしました三菱電機を定年退職となり、これから第二の人生と言う事になりますが、群馬菱の実会に入会する事により、今後より一層楽しさが増えるような気がいたします。諸先輩方のご指導を頂きながら、楽しい人生を送りたいと思いますのでご指導ご鞭撻頂きます様宜しくお願い申し上げます。

- ・昭和 40 年 3 月入社(三菱電機群馬製作所)、プレス係に配属(プレス加工業務を 36 年間担当) ・菱馬テクニカに出向(3 年間サービス業務担当)
- ・平成 17 年 4 月 MHK に出向(6 年間サービス業務担当)
- ・平成 23 年 3 月 20 日(三菱電機を定年退職)

【 会員投稿 】

「地球は人類が二度と住めない星となる」はその後どうなったのか？ 上村 続久

数十年前、米国、ソ連、フランス、イギリス、中国、インド、パキスタンなどの国々は、競って原爆実験を行った、おそらく合計100数十回以上にのぼっている。その時メディアで囁かれたことは、「このまま原爆実験を続けたら地球は人類が二度と住めない星になる」であったと記憶している。この原爆実験が中止された契機は、ビキニ環礁で被爆し亡くなった久保山愛吉さんの死亡報道であった。実際には、その後も何回か実験は続いていたが、それが契機になったことは、間違いではなく、このことは、メディアのはたした功績は極めて大きいと言える。

しかしながら、今の福島第一原発事故に対する外国のメディア扱いは、先の数十年前の原爆実験の愚かさを、知ってかどうか分からないが、日本からの情報が不十分だ、事前に何の予告もなく、大量の放射性物質を放出したなどと怒っている。原爆実験を行った時の諸外国は、全く予告なしに実験を行ったり、実験の周知徹底が不十分であったりしたのではないだろうか。実験後の放射能の分布や、影響などのニュースはあまり知られていない。

原爆は、広島型のウラン235を使用したもの、長崎型のプルトニウム原爆、第5福竜丸が被爆した、いわゆる水爆の3種に大きく分けられが、どうも、不可解なことが多い。

- ① 数十年経過した現在、半減期が何万年といわれるプルトニウムはどこに消えたのか？
- ② 原爆や水爆は、原発に比べて放射性物質の放出量が少ないのか？
原発は事故が起きなければ、放射能の放出は全くないが、爆発・爆発事故を起こせば、核燃料の量の対比で、原爆はkg、原発はトン単位で、原発の放出量が圧倒的に高い。
- ③ 広島(20万人死亡)、長崎(6万人死亡)、の直接の死因は、熱線で、第5福竜丸の被爆を除いて、放射線や癌などによる死亡として特には取上げられていない印象がある。
- ④ ソ連や、中国やインドの原爆実験は自国で行っていたと思えるが、放射能の影響はどうなっているのだろうか？国民の影響は？死亡事故は？
- ⑤ 中国の核実験により偏西風に乗って日本に降った放射性物質はどの程度だったのか

しかし、考えれば、原子爆弾と原子力発電を比較すること自体、誤っている。即ち、原子爆弾は兵器であり、その方法は熱線、放射線を問うても仕方がない。原子力発電は、人類に害がある、放射線や放射能をまき散らしてはならない事だけは確かである。半減期何万年と云われる、セシウムやプルトニウムが、数十年前の核実験で発生したと思われるそれが見当たらないのも喜ばしい事である。